

You can always become better!!

<はじめに>

ここではこの研修に参加した経緯などを挙げておこうと思う。もしかしたらこれを読んでいる読者の中にもいるかもしれないが、自分は今もだが将来像というものが描けていなかった。周りの人たちを見るとほぼ大半の人が「安定した就職先がいい」「自分はもう決まっているから」「こー一本狙いで」等々すでに走り出している人が多く、なかには「自分で企業を生み出す」人も少なからずといったところ。そんな周りを見て自分はまだスタートラインどころか布団の中でぐっすりと寝ているところなのではないかと不安と焦燥に駆られているというのが当時の自分である。まあ今もなおというもあるがそこは省略する。

この英語研修に参加希望したのはこの不安と焦燥の解消・逃避・・・70%、興味本位・・・2

5%、その他(コネクション作りなど)・・・5%というのが理由で、また英語のリスニングの練習にもなると考えた為である。今回の研修で得られたことを以下に述べていきたい為項目ごとにまとめていく。

1. 生活面

● 家庭面

自分を迎え入れてくれたホストファミリーは双方還暦を迎えた老夫婦でもとても親切な方だった。平日は昼食のサンドイッチやフルーツを用意し辞書を忘れてしまった自分に対して身振りやゆっくりはっきりした口調で話してくれる等多々な場面で色々して頂いた。

シャワーに関しては「5分まで流していいですよ」という指示を受けたので女性には髪の毛のセット等で大変に感じるが流す時間が5分までなので気を付けるようにするといいい。

● 大学面

ホストファミリーからカーティン大学までバスで大まかに1時間ほどでいけるがとにかく広い、どこぞの熱帯地方に植えられている樹木や赤子の鳴き声のような鳴き声を放つ鳥など「本当に大学か?、どこかの研究施設の間違いなのでは?」と疑いたくなる程である。建物は様々な様式の作り(煉瓦、ビルコンクリート等)であちこちに芝生やベンチ・スポットで昼食をとったり会話してる学生が多かった。

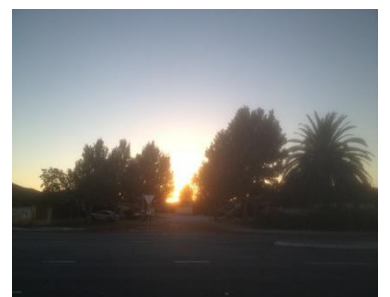
通学に関しては個人によるが主にバスを利用して通う。これは余談だが自



研修中の都市大生の様子 in Art Gallery of Western Australia (ピースもらってみました)



ラム肉ステーキと鶏ウィナーに味なしポテトサラダ等といったヘビーな料理



降ろされた場所でもこんなに綺麗だと何も考えられなくなる

分は初日学校から帰宅する際、方向感覚と地理の把握が全くできてなかったため2度迷ってしまった。バスの番号を間違えたり、降りるバス停名を把握しないとんでもないところに着いてしまうのでホストファミリーから通学順路を教わる際はしっかりとメモを取るなど慎重に記憶するのがベストである。またバスはアナウンスがないので居眠りしていると目的地を通り過ぎる事になるのでこれも注意する。

- 地域・環境面

1～3月の間は真夏で特に日照りが強く紫外線を多く受けるので日焼け止めクリーム、サングラスは必須。ただ非常に乾燥してる日が多いので汗もあまりかかず、洗濯日和の日が多い(ドライヤー不必要)。多くの家庭では芝の乾燥を防ぐためあちこちでスプリンクラーが設置されている。もし何か足りないものがある場合、現地には Target(日本でいう西友みたいなデパート)、Coles・Woolworths(食品スーパー)で買い揃えられ、また大学構内でもブックショップや化粧関係品売り場(シャンプー・リンス・日焼け止めクリーム等)が販売されている。ただ多くの店は午後5時には完全に閉店になるので注意、また日が暮れるとアボリジニ(オーストラリア原住民)の人々に犯罪(窃盗、酷いと殺害)に巻き込まれるので夜は絶対に外で一人行動してはならない。



日照りの強さは半端じゃない



大体の飲み物の一覧とおおよその値段 (飲料水 600ml:AUS\$2.50、炭酸飲料 600ml:AUS\$3.50)

2. イベント面

- Swan Valley Tour

Caversham Wildlife Park ではカンガルーの餌やりや羊の毛皮カット・鞭打ち・仔ヤギのミルクやり等といったショー、ウォンバットとの写真撮影ができるなど様々な動物と戯れたりできる。

Margaret River Chocolate Co. では3つの味(ミルク・ホワイト・ビター)のチョコレートの試食や土産・飲食が可能である。ただやはり気温が高いためチョコレートに関する液体系のお土産はあまり買わない方がいい(シャツ等は除く)

- Kings Park (bushland guided walk)

1910年代のオーストラリアでの主な戦争の記録・石碑が設立されており、石碑の下には多くの戦死者の名前が刻まれていて近くには井戸のようなものがあり5セント玉を投げて入れると願いがかなうといわれている。パース市街の全貌を眺められる場所でもある。

- Activity with Curtin Volunteers

カーティン大学の駐車場の奥に(家1軒分の敷地面積位の)ガーデニング広場がありそこで畑仕事の手伝いをする。作業の役割として肥料運び・均



カンガルーにエサやり



悟りに入ったコアラ



パースシティを一望



メモリアル (この下に戦死者の名が刻まれている)



ボランティア活動中の様子



活動後の集合写真

し、水まきなどでかなり泥んこになるので汚れてもいい恰好で来るのがいい。またその週の日曜日の午後4時以降にダンスパーティーがあるようなので(自分は不参加だった)カーティン大学の人と仲良くしたい人はぜひ行くべきである。

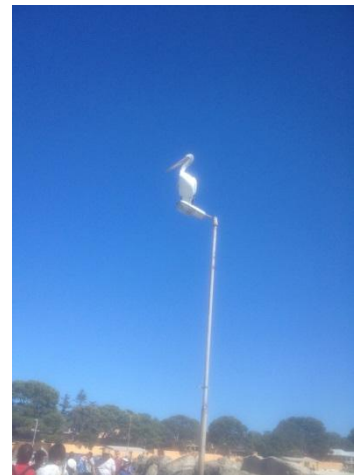
- Excursion to Rottnest Island

フリーマントルよりフェリーで40分ほどで着く。島には大きなネズミ(巨大モルモットみたいな生き物)やペリカンなどの多くの動物に海水浴・湖・セントラルショップ等といったスポット等がある

これは経験則であるが体力がありかつ素晴らしい光景をみたいまたは冒険心がある人にもみ教えるが途中砂でできた坂道が分岐して現れるがその道に通ると謎の建物や多くの見晴らしの良い景色に出会える。ただ途中道なき道も通らないといけなくなるため覚悟も必要である。

水着を持参すれば海水浴に行けるが日照りはホストハウス周辺より何倍も強いので日焼け止めは数回塗りかえすことをお勧めする、また場所・時間帯によってはクラゲなど出る海もあるので注意する。

セントラルショップでは土産物はもちろん食飲料商品や水着、帽子に日焼け止めクリーム、近くには飲食料店が設置されておりネズミが近寄ってくることもあるので行ってみると吉。また飲料商品(ジュース)に関しては、600ml: \$3.80、1250ml: \$4.40、2000ml: \$5.35(大まかな記憶)で購入できる(VISA 使用可)、また便所近くにはシャワールームが利用できる。



電灯の上にペリカン (初めて見たけど大きい)

- Art Gallery of Western Australia Indigenous

様々な芸術を表したものが展示されている美術館で日本のとはまた違った雰囲気漂っている。地下には審議室や被告人の留置部屋がそのまま残っていたり2階には不思議な絵や身近なもので作り上げられたアートが多くあったりと貴重な感覚を得られる。ここにもグッズ(図解説書、マグカップ等)がいろいろ売られているので買ってみるのもオススメで、玄関前の化粧室も変わった形の便器があったりかなり面白いスポットである。これが終わるとうまくいけばパース市街に繰り出せることができるので注意する。



この中に様々な絵が隠れている



頭部はCD、体は鈴でできた人体

- End of course Graduation Lunch

最終授業日の午後修了課程書を授与される日でその後に BBQ パーティーランチが施される。食べられるものとして巨大ウィンナー・炒め飯・ステーキ等肉肉肉の山盛りが出て、缶ジュースも1本つく。他の日本からの大学研修生とも一緒に食べるので仲良くなる一環の一つと考えた。(当時は和歌山大学、京都産業大学の研修生の方々と一緒に楽しく頂いた)



女子の美味しく頂いている様子



京産大、都市大、和歌山大学の合同撮影

<終わりに>

今回研修を経て得られたこと英語スキルを高ければ高いほど会話が上達するのかと聞かれるとそうでもないということである。これは経験則だが、リスニングの際スクリプト(リスニングの台本)を見て感情表現が少なく話者がどんな状態(喜んでいる、悲しんでいる等)なのか推測しづらいが実際の会話では強調語句があったり感嘆符があったりとかかなり感情移動の激しい会話だった。又日本と違い男女の話し方にも違いがない(日本なら男性なら「俺」「～だぜ」、女性なら「あたし」「～なのね」等)ことからさらに判別が難しくなる。日本では、「えっ?」「マジで?」「ヤバイ」等現代でも様々な感情を示す術を持ち合わせられている又は文章にめり込まれていく(「ヤバイ」に至ってはどんな時に使うかは自分でもわからないが)為、これが今日本で英語に苦手意識を持つ人々の傾向の1つなのではないかと考えられる。

今回の研修で出会った様々な人々(都市代の研修仲間、ELICOS クラスの皆さん、カーティン大学の英語研修プログラムに携わった方々、ホストファミリーの Curtis 夫妻、その他大勢)には大きな経験をさせて頂いたことに感謝を述べたいと思います、本当にありがとうございました。では最後に何枚かいいなと思った写真を載せて終わろうと思う。読んでくれてありがとう。



Curtis 夫妻との写真



ELICOS クラスの集合写真